

7月7日にハスの開花を確認しました

Vol.110
令和元年度8月号

— 自然体験講座で伊豆沼を満喫

伊豆沼・内沼自然体験講座に参加した小学生らが、沼周辺で自然と触れ合いました。

7月7日の「水辺の生き物採集と観察会」で20人が、タモ網で獲った生き物の観察や、定置網で獲れた魚類の分類を体験しました。参加した11歳女子は「何かをきくと、とても詳しく教えてくれるところがよかった」、11歳男子は「魚などの伊豆沼の自然にふれられるところがとてもよかった」と感想を寄せています。

7月21日には小学生14人が「昆虫採集と標本作り」に挑戦しています。伊豆沼の周囲で捕まえた蝶やトンボを『わくわくどきどき実験室実行委員会』の指導で標本にするものです。10歳男子は「標本作りのときに、分かりやすく教えてもらったのでスムーズにできました」と言っていました。



ヌルヌルのライギョはなかなか持ち上げられない



魚がいるよ



定置網にはテナガエビが

どんな昆虫がいるのかな



ハグロトンボをゲット



捕まえた昆虫を標本に



— 伊豆沼でジオパークの学習

7月5日に、栗駒山麓ジオパーク学習で栗原南中学校1年生が、伊豆沼周辺で自然体験活動をしました。水質調査では、沼の水、川の水、水道水の3種類を比較。水質を浄化する働きのあるカラスガイなどにも触れ、沼の水質について学びました。定置網にかかった生き物を、外来魚のオオクチバスやブルーギルに仕分けました。その中でも、ウシガエルのオタマジャクシはたくさん獲れ、驚きの声が上がりました。また、胴長を着て沼を歩く体験をしました。初めての沼の感覚に、生徒たちは大盛り上がりでした。

水槽の中の外来魚を仕分け



三角網で沼の生き物を捕まえました

— ロボットボート、ヒシ刈りにも挑戦



ヒシ群落を順調に刈り払うロボットボート

財団では伊豆沼の水質改善のため、水生植物の刈り取り作業に取り組んでいます。東京大学が開発したロボットボートをヒシ群落に投入して7月12日に試験刈り払いを行いました。ヒシよりも丈夫なハスを目的に開発したため、ヒシを難なく刈り払います。また、パドル式の推進方式を採用しているため、船外機のようにスクリューにヒシがからみ、船が動きにくくなることもありません。すぐに試験区の刈り払いが終わり、ヒシ刈りにも十分応用できることがわかりました。

— 夏の伊豆沼自然と科学の体験会



参加無料

伊豆沼の水生微生物を
観察しよう



いろんな昆虫の
ペーパークラフトをつくろう



アリゾグクの様子を
観察しよう



インクの色を分解



8/4日 10:00~15:00。対象は小学生。随時、直接各ブースへ。わくわくどきどき実験室実行委員会

— 伊豆沼・内沼生きもの図鑑 クサレタマ (草麗玉もしくは草連玉 *Lysimachia vulgaris*) —

伊豆沼には湿地特有の美しい草花が梅雨の時期にも花を咲かせています。その一つがクサレタマです。100cmほどの高さに成長する大型の多年草です。レモンイエローの花を沢山つけるため、場所によってはヨシ原が一面黄色く染まります。ノハナショウブ（花菖蒲の野生種）と共に群生することも多く、湿地を美しく彩ります。また、秋には黄色や赤色に紅葉します。干拓や遷移によって、数を減らしているようです。伊豆沼の岸部には所々に群落が残っていますので、お越しの際にはぜひ探してみてください。

